

SCCJセミナー

ヘアケアの評価技術と処方技術の最新トレンド ～多様化するニーズと複雑化する髪履歴に対応する技術を考える～

午前の部

10:15 ~ 10:20 総合司会から注意事項アナウンス
開会の挨拶 セミナー委員長 早瀬 基

ヘアケア処方の変遷と技術動向

神戸大学大学院 教授 辻野 義雄 先生

持続可能な開発目標 (SDGs) を受け、ヘアケア製品も社会の発展と地球環境保全に配慮した技術が期待されている。現在のヘアケア製品は、「レモン汁リンス」と呼ばれた第一世代から始まった。そして、高分子シリコーンによる第二世代、毛髪補修成分やコアセルベーションによる第三世代、システムトリートメントの第四世代を得て、バイオコンジュゲーション技術を用いた第五世代に進化してきた。本講演では、ヘアケア処方の変遷について紹介し、今後の技術動向について述べる。

生活者の実態を捉えた毛髪評価方法

ライオン株式会社 大石 泉 氏

近年、生活者のライフスタイルや環境の変化に伴い、ヘアケア製品に求められる機能も多岐にわたっている。さらにコロナ禍によるマスク生活を通して、ヘアケアに対する意識の高まりも見られており、生活者の実態を捉えた製品開発が今後さらに必要になると考えられる。本セミナーでは、毛髪の構造や特徴、毛髪のダメージ、毛髪や毛髪モデルを用いた各種評価手法（官能評価および機器評価）について、事例を交えながら解説する。

12:00 ~ 13:05 休憩

■日 時 2022年2月18日(金)
10:15~17:20(受付開始9:40予定)

■方 法 ハイブリッド開催

来場参加(100名限定。先着順)
オンライン参加(ライブ配信)

■主 催 日本化粧品技術者会

お問い合わせフォーム
(<https://www.sccj-ifsc.com/contact>)

■参加費 会員/代理:13,000円
一般 :19,000円
(来場/オンライン同額)



■申込期間 2022年1月7日(金)~
2022年2月3日(木)23時59分【締切厳守】
[Web参加申し込み]

詳細 ⇒ <https://www.sccj-ifsc.com>

午後の部

N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)-β-アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤： その特異な界面挙動とシャンプーへの応用

クラシエホームプロダクツ株式会社 松江 由香子 氏

近年、アミノ酸系界面活性剤が配合されたシャンプーが多くなっている。アミノ酸系界面活性剤はカチオン化ポリマーと多量のコアセルベートを生成するためシャンプーのすすぎ時のきしみが低減されるが、汎用されている界面活性剤と比べると泡性能が不十分であった。本講演では、泡性能を改善した新規なアミノ酸系界面活性剤であるN-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)-β-アラニン塩の界面挙動とシャンプーへの応用について報告する。

グリオキシル酸を用いた酸熱トリートメント技術について

株式会社資生堂 石森 綱行 氏

近年、国内のサロンシーンでは酸熱トリートメントというトリートメントメニューが人気を博している。このトリートメントの特徴は、ヘアアイロンの熱処理が加わるとクセ毛のうねりを抑制し維持する効果を發揮することである。しかし、その詳細なメカニズムは一切解明されていない。本講演ではグリオキシル酸を用いた酸熱トリートメントの特徴と、それにより処理された毛髪の特徴的な形態変化および引っ張り伸長特性から考察したクセ抑制のメカニズムについて紹介する。

休 憩

カラートリートメントの特長と黒髪メラニンのもとを応用了した染毛料の技術開発

花王株式会社 島津 綾子 氏

カラートリートメントは、髪をケアしながら髪を色付けることができる染毛料である。2剤を混ぜて使用するヘアカラーと異なり、一度の施術で髪を明るくしたり、しっかり髪色を変えたりすることはできないが、その簡便さや安心感から、近年ではヘアカラーに代わる、あるいはその効果を補助する方法として注目されている。本講演では、一般的なカラートリートメントの製剤特長と、黒髪メラニンのもとを着色料に用いた染毛料の技術開発について紹介する。

頭髪の加齢変化の長期的研究とエイジング頭髪の解析手法

株式会社ミルボン 永見 恵子 氏

近年、肌のみならず頭髪に対してのエイジングケアのニーズが拡大している。それに伴い、従来の男性をメインターゲットとした脱毛予防ケアはもちろん、女性からも美しい髪を維持するための頭皮ケアへのニーズが高まりを見せている。本講演では、3000人超に及ぶ女性の頭髪調査より得られた大規模調査結果をもとに、艶やかな髪および白髪のない黒髪を維持するために重要な頭皮の状態を解析する技術を中心に紹介する。

閉会の挨拶 セミナー副委員長 藤田 郁尚

休 憩・移 動

フリーディスカッション

<各講師とのオンライン質疑応答コーナー>

16:30~17:00 I部(来場参加者+オンライン参加者)

17:00~17:20 II部(来場参加者限定)

*スケジュールは、準備や当日の状況等により変更される場合があります。

(別紙)

ヘアケアの評価技術と処方技術の最新トレンド ～多様化するニーズと複雑化する髪履歴に対応する技術を考える～

< スケジュール >

<総合司会 今井 健仁 (ホーユー(株)) >

| 時 間 | 題 目・講 師 |
|----------------------------|---|
| 10:15-10:20 | 総合司会から注意事項アナウンス |
| | 開会の挨拶 セミナー委員長 早瀬 基 |
| 10:20-11:15 (質疑を含む) | ヘアケア処方の変遷と技術動向 神戸大学大学院 教授 辻野 義雄 先生 |
| 11:15-12:00 (質疑を含む) | 生活者の実態を捉えた毛髪評価方法 ライオン(株) 大石 泉 氏 |
| 12:00-13:05 | (昼 休憩) |
| 13:05-13:50 (質疑を含む) | N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)-β-アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤： その特異な界面挙動とシャンプーへの応用 クラシエホームプロダクツ(株) 松江 由香子 氏 |
| 13:50-14:35 (質疑を含む) | グリオキシル酸を用いた酸熱トリートメント技術について (株)資生堂 石森 綱行 氏 |
| 14:35-14:45 | (休憩) |
| 14:45-15:30 (質疑を含む) | カラートリートメントの特長と黒髪メラニンのもとを応用した染毛料の技術 開発 花王(株) 島津 綾子 氏 |
| 15:30-16:15 (質疑を含む) | 頭髪の加齢変化の長期的研究とエイジング頭髪の解析手法 (株)ミルボン 永見 恵子 氏 |
| 16:15-16:20 | 閉会の挨拶 セミナー副委員長 藤田 郁尚 |
| 16:20-16:30 | (休憩・移動) |
| 16:30-17:00 17:00-17:20 | フリーディスカッション <各講師とのオンライン質疑応答コーナー> I部 (来場参加者+オンライン参加者) II部 (来場参加者限定) |

*スケジュールは、準備や当日の状況等により変更される場合があります。

1. ヘアケア処方の変遷と技術動向

神戸大学大学院 教授 辻野 義雄 先生

持続可能な開発目標（SDGs）を受け、ヘアケア製品も社会の発展と地球環境保全に配慮した技術が期待されている。現在のヘアケア製品は、「レモン汁リンス」と呼ばれた第一世代から始まった。そして、高分子シリコーンによる第二世代、毛髪補修成分やコアセルベーションによる第三世代、システムトリートメントの第四世代を得て、バイオコンジュゲーション技術を用いた第五世代に進化してきた。本講演では、ヘアケア処方の変遷について紹介し、今後の技術動向について述べる。

2. 生活者の実態を捉えた毛髪評価方法

ライオン株式会社 大石 泉 氏

近年、生活者のライフスタイルや環境の変化に伴い、ヘアケア製品に求められる機能も多岐にわたっている。さらにコロナ禍によるマスク生活を通して、ヘアケアに対する意識の高まりも見られており、生活者の実態を捉えた製品開発が今後さらに必要になると考えられる。本セミナーでは、毛髪の構造や特徴、毛髪のダメージ、毛髪や毛髪モデルを用いた各種評価手法（官能評価および機器評価）について、事例を交えながら解説する。

3. N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)-β-アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤： その特異な界面挙動とシャンプーへの応用

クラシェホームプロダクツ株式会社 松江 由香子 氏

近年、アミノ酸系界面活性剤が配合されたシャンプーが多くなっている。アミノ酸系界面活性剤はカチオン化ポリマーと多量のコアセルベートを生成するためシャンプーのすすぎ時のきしみが低減されるが、汎用されている界面活性剤と比べると泡性能が不十分であった。本講演では、泡性能を改善した新規なアミノ酸系界面活性剤である N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)-β-アラニン塩の界面挙動とシャンプーへの応用について報告する。

4. グリオキシル酸を用いた酸熱トリートメント技術について

株式会社資生堂 石森 綱行 氏

近年、国内のサロンシーンでは酸熱トリートメントというトリートメントメニューが人気を博している。このトリートメントの特徴は、ヘアアイロンの熱処理が加わるとクセ毛のうねりを抑制し維持する効果を発揮することである。しかし、その詳細なメカニズムは一切解明されていない。本講演ではグリオキシル酸を用いた酸熱トリートメントの特徴と、それにより処理された毛髪の特徴的な形態変化および引っ張り伸長特性から考察したクセ抑制のメカニズムについて紹介する。

5. カラートリートメントの特長と黒髪メラニンのもとを応用した染毛料の技術開発

花王株式会社 島津 綾子 氏

カラートリートメントは、髪をケアしながら髪を色付けることができる染毛料である。2剤を混ぜて使用するヘアカラーと異なり、一度の施術で髪を明るくしたり、しっかり髪色を変えたりすることはできないが、その簡便さや安心感から、近年ではヘアカラーに代わる、あるいはその効果を補助する方法として注目されている。本講演では、一般的なカラートリートメントの製剤特長と、黒髪メラニンのもとを着色料に用いた染毛料の技術開発について紹介する。

6. 頭髪の加齢変化の長期的研究とエイジング頭髪の解析手法

株式会社ミルボン 永見 恵子 氏

近年、肌のみならず頭髪に対してのエイジングケアのニーズが拡大している。それに伴い、従来の男性をメインターゲットとした脱毛予防ケアはもちろん、女性からも美しい髪を維持するための頭皮ケアへのニーズが高まりを見せている。本講演では、3000人超に及ぶ女性の頭髪調査より得られた大規模調査結果をもとに、艶やかな髪および白髪のない黒髪を維持するために重要な頭皮の状態を解析する技術を中心に紹介する。